

文化財を伝える

日本の保存技術が古代エジプト文明の秘宝を救う

全人類の貴重な文化財である古代エジプト文明の秘宝。高度なエジプト文明を伝えるこれらの秘宝は、わたしたち、日本人にとっても関心の高い文化財でもあります。

現在、わが国では、古代エジプトの文化財を保存し、修復するための技術をエジプトの文化財保存の専門家に伝授する活動を進めています。そして、この活動には、文化財保存修復学会の会員が数多く参加しています。

そこで、本シンポジウムでは、長年にわたり、エジプト学の研究をおこなっている関西大学の吹田浩教授の基調講演とともに、日本の文化財保存修復技術の伝授が進められている大エジプト博物館保存修復センター（GEM-CC）での活動を報告します。

素晴らしいエジプト文明の秘宝をどのように修復し、保存するのかについて、文化財保存の専門家と文化財に関心のある方々とともに考える機会となることを期待しています。



[日時] 平成26年12月14日(日) 13時～16時30分(開場12時)

[会場] 国立民族学博物館講堂 [定員] 300名／参加無料(要事前申し込み)

主催: 一般社団法人文化財保存修復学会

共催: 国立民族学博物館

後援: 文化庁・日本文化財科学会・独立行政法人国際協力機構(JICA)・一般社団法人国宝修理装飾師連盟・読売新聞社

文化財を伝える

日本の保存技術が古代エジプト文明の秘宝を救う



Program プログラム

12:00

開場

13:00~13:05

開会挨拶 (理事長)

13:05~13:45

基調講演「エジプト文明の壁画を保存する」吹田 浩 (関西大学)

13:45~13:55 休憩

13:55~14:15

報告「GEM-CC への技術支援プロジェクト」末森 薫 (国立民族学博物館)

14:15~14:35

報告「民博の資料管理技術をエジプトで活用する」日高真吾 (国立民族学博物館)

14:35~14:55

報告「エジプト文明の金属製品を科学する」藤澤 明 (帝京大学)

14:55~15:15

報告「エジプト文明の染織品を保存する」石井美恵 (東京文化財研究所)

15:15~15:25 休憩

15:25~16:25

パネルディスカッション

「日本の保存技術が古代エジプト文明の秘宝を救う」

コーディネーター：園田直子 (国立民族学博物館)

パネラー：吹田 浩、末森 薫、日高真吾、藤澤 明、石井美恵

16:25~16:30

閉会挨拶 (副理事長)

■実行委員会

実行委員長：三浦定俊 (理事長)

荒井 経 (東京藝術大学)

米村祥央 (東北芸術工科大学)

副実行委員長：本田光子 (副理事長)

岡 泰央 (国宝修理装演師連盟)

和田 浩 (東京国立博物館)

日高真吾 (国立民族学博物館)

申し込み
方法

下記、EメールアドレスもしくはFAXにて必要事項を記入の上、申し込みください

Eメールアドレス：bunkazai@idc.minpaku.ac.jp

FAX：06-6878-7503 (国立民族学博物館 日高真吾宛でお願いします)

申し込み時
必要記入事項※お名前 (漢字、ふり仮名) ※連絡先住所 ※電話番号 ※FAX番号 ※Eメールアドレス
※所 属 (勤務先もしくは学校名)

※参加申込にてご提供いただきました個人情報は、本シンポジウムの受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。

FAX申込書 [06-6878-7503]

ふりがな

氏 名

ご住所 (勤務先 ・ 自宅)

〒 -

電話番号

FAX番号

所 属
(勤務先もしくは学校名)

E-mail アドレス

@